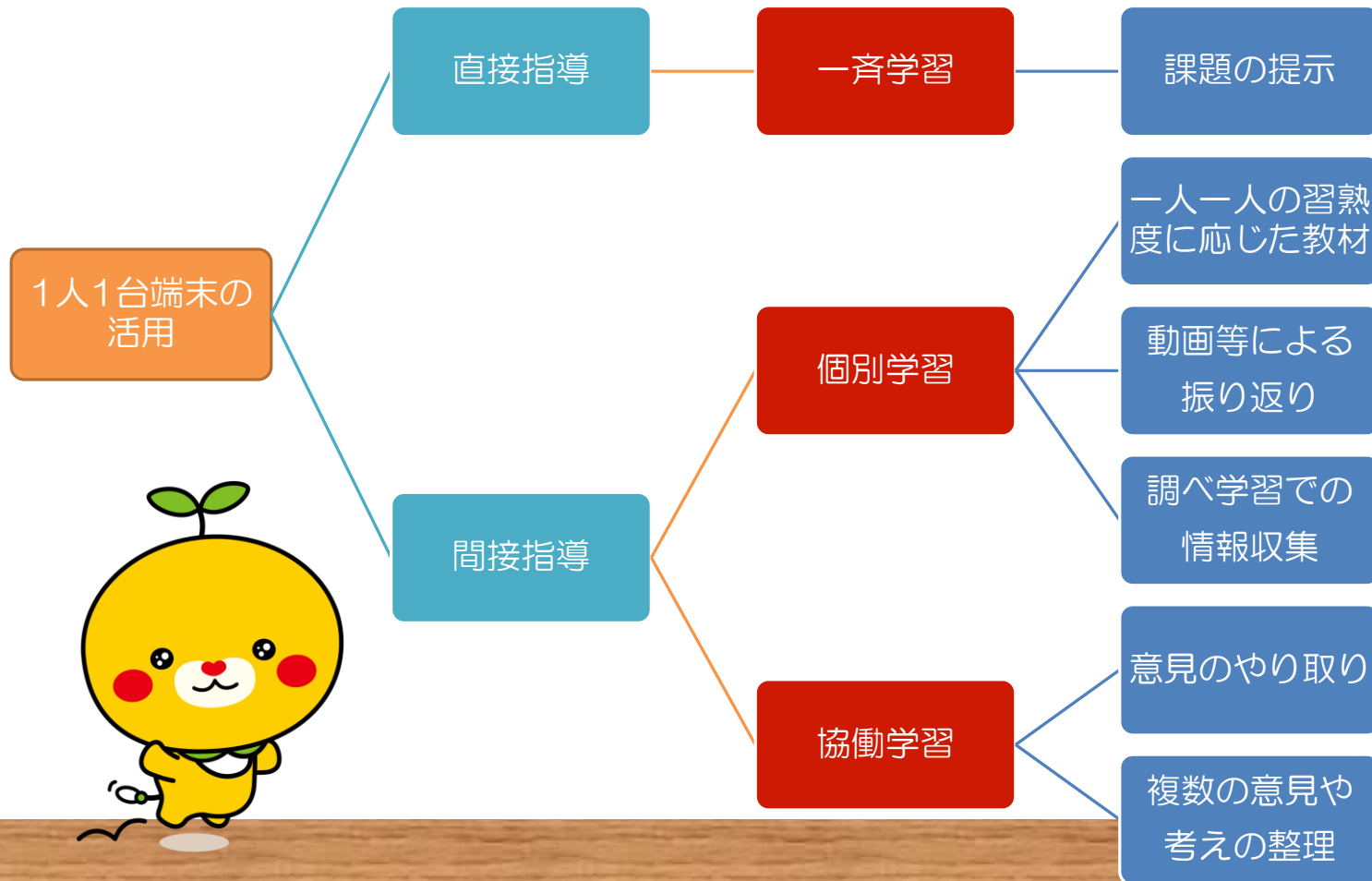


# 複式学級における 1人1台端末の活用

第2・3学年 実践例より

# 1人1台端末を活用することで・・・

主体的・対話的で深い学びを実現する手立てとなるだけでなく、  
間接指導の効率化や、教師の負担軽減につながります。



低学年や中学年でも、簡単なことから使い始めると、無理なく取り入れることができます。

間接指導時の学習を助け、教師が一人一人の取組を見取る手立てとなります。



# ① 朝ドリルでの活用

一斉学習

課題の提示

個別学習

一人一人の習熟  
度に応じた教材

## 【活動内容】

- ・ 朝15分間、タブレットの活用。
- ・ 教師が共通の課題を出したり、子供が自分で教科や単元を選んだりして取り組む。



BEFORE

- ・ ドリルやプリント学習

AFTER

- ・ eライブラリの活用

## 1人1台端末活用のメリット

- プリント等を準備する時間が削減できる。
- 教師は個々の学習状況や習熟度を、容易に把握できる。
- 取組の成果が可視化され、子供自身で確認できるので、更なる意欲の向上につながる。

## ② 授業での活用

個別学習

一人一人の習熟  
度に応じた教材



### 2・3年生:算数 間接指導の時間での活用

【活動内容】

- ・ 授業のはじめの小テストの代わりに、タブレットを使って前時の復習をする。
- ・ 練習問題が早く終わった子供は、タブレットを使って更に練習問題を解く。

BEFORE

・ ドリルやプリント学習

AFTER

・ eライブラリの活用

### 1人1台端末活用のメリット

- 小テストや練習問題を準備する時間が削減できる。
- 採点結果を子供がすぐに確認することができる。
- 教師は、個々が取り組んだ内容や、その理解度を確認することができる。



## ② 授業での活用

個別学習

動画等による  
振り返り

2年生：国語「おにごっこ」～本を読んで、せつめいする～

【活動内容】

- ・ 調べたことを友達に発表する前に、タブレットで録画し、自分の発表の直したらよいところやもっとよくしたいところを確認し、更に練習をして本番に臨む。

BEFORE

- ・ 読んで練習

AFTER

- ・ カメラ機能の活用

1人1台端末活用のメリット

- 自分の発表の様子を何度も見返すことで、改善点を客観的に確認し、更に練習に生かすことができる。
- 発表原稿ができれば、自分のペースで発表練習に取り組むことができる。



録画中



視聴中

## ② 授業での活用

個別学習

調べ学習での  
情報収集

### 3年生:総合的な学習の時間 **調べ学習**での活用

#### 【活動内容】

- ・ 教師があらかじめSDGsに関係する記事を写真に撮り、共有フォルダに保存する。
- ・ 共有フォルダから子供が興味をもった新聞の記事を取り出し、感想や自分にできることをそれぞれのカードに記入する。

BEFORE

- ・ 記事を探して印刷し、ノート等に貼り付け

AFTER

- ・ 全てタブレットで作業



#### 1人1台端末活用のメリット

- 新聞記事はサイズ・形が様々で、印刷資料としての準備には時間がかかるが、データにすることで、一定サイズに収める必要がない上、カラーで提供できる。
- 一枚の新聞記事を共有して、全員が同時に手元で見ることがができる。
- 話し合い等で提示する時、資料を簡単に拡大表示できる。
- 疑問や興味をもったことについて、その場ですぐに調べることができる。

## ② 授業での活用

協働学習

意見のやり取り

複数の意見や  
考えの整理

### 2年生：国語「ようすをあらわすことば」

【活動内容】

- (1) 様子を表す言葉を使って、絵に表されている様子を文にする。
- (2) 作った文（ワークシート）を写真に撮り、教師に送る。
- (3) 共有画面で全員で確認しながら、よりよい文にする。

BEFORE

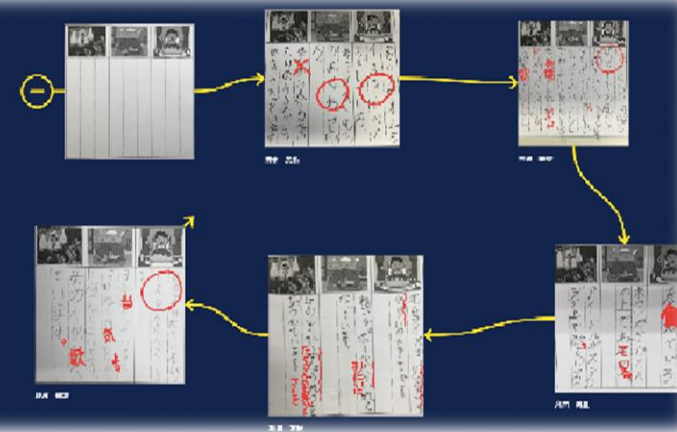
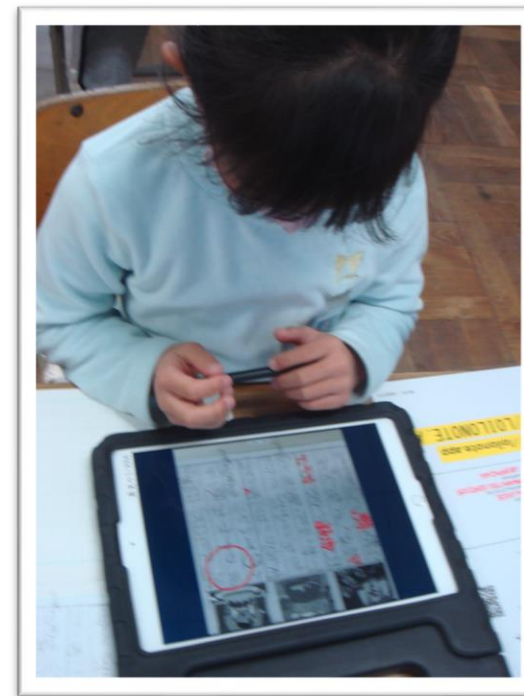
- ・ 書画カメラ等で映す
- ・ 短冊に書いて、黒板に貼って見合う

AFTER

- ・ ロイロノートを活用し、情報の集約・提示

### 1人1台端末活用のメリット

- 同じ絵から、様々な文ができることを、視覚的に捉えやすい。
- 自分と友達作品を手元でじっくりと比べることができる。



## ② 授業での活用

協働学習

意見のやり取り

### 3年生：国語「ありの行列」

【活動内容】

- (1) 「ありの行列」の学習の最後に書いた作文を写真に撮り、教師と友達に送る。
- (2) 送られてきた友達の作文を読んでワークシートに感想を書き、教師と友達に返信する。
- (3) 友達の感想（自分の作文へのコメント）を読み、更にカードで返信する。

BEFORE

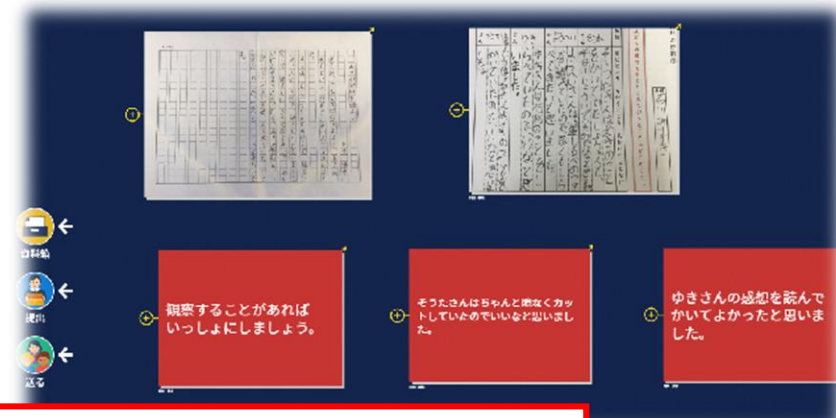
- ・ 発表を聞いて、感想を書く

AFTER

- ・ ロイロノートを活用し、やり取りする

### 1人1台端末活用のメリット

- 作文を読みながらじっくりと感想を書くことができる。
- 自分の意見と比べながら、友達の感想を読むことができる。
- 何度もやり取りすることができる。
- やり取りした感想やコメントを、自分の手元に残すことができる。





## ② 授業での活用

個別学習

動画等による  
振り返り

協働学習

意見のやり取り

複数の意見や  
考えの整理

### 2・3年生：体育「ITスタジアム（長なわ跳び）」

#### 【活動内容】

- (1) 長なわを跳んでいる様子を教師が撮影し、その動画を子供に送る。
- (2) 各自で視聴した後、どうしたらもっと上手に跳べるようになるか考え、カードに書く。
- (3) 全員の意見を集約し、次の長なわの練習に生かす。

BEFORE

- ・ 互いのアドバイス  
で改善

AFTER

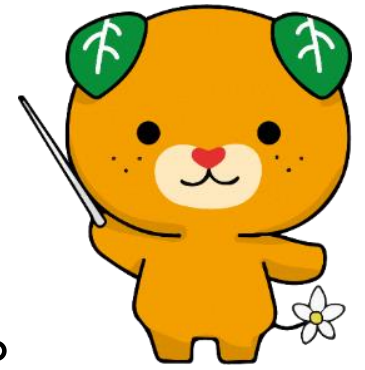
- ・ ロイロノートの活用  
で視覚的な捉え



### 1人1台端末活用のメリット

- 動画は好きなところで止めたり巻き戻したりできるため、自分たちの改善点等を見つけやすい。
- 友達の意見が一目瞭然で分かり、クラスとしての意見をまとめやすい。

# 1人1台端末を活用するときのポイント



- どの単元、どの教材で活用するのが有効か、検討する。
- 先生機を2台準備したり、片方の学年は別の手立てで授業を進めたりするなど、多様な方法を考えるとよい。（先生機1台では、1学年分の閲覧、操作しかできない場合が多いため。）



教材研究の時間は限られていますが、まずは、教師が積極的に1人1台端末を活用した授業を取り入れ、実践を重ねながら、更に改善していきましょう！